

「放射線の話し」

みさと健和病院 放射線課

放射線課では病院やクリニック、診療所においてX線撮影（レントゲン）胃透視、CT検査等の業務を行っています。健康診断などで1年に1回程度は撮影させていただいている事と思います。患者様からよく聞かれる質問で、昨日もレントゲン撮影したけど今日も撮影するけど被ばくは大丈夫？と、そのような疑問に少しでも役立てられれば幸いです。

＜日常に潜む放射線 自然放射線とは＞

地球上で生活する上で放射線被ばくを0にする事はほぼ不可能です。それは宇宙からくる放射線宇宙線と呼ばれるものが降り注いでいる事、地球の土壤に含まれているラドン等の物質などからの放射線によるもの、日常的な食事などから摂取する物質などの放射線によるものなど様々あり・・・全て合算すると平均年間2.4mSV（ミリシーベルト）程度の自然放射線被ばくをしていると言われています。自然放射線被ばくの量は標高が高いほど多くなる傾向があり宇宙線による被ばくが多くなることが要因です。

病院での検査では自然放射線とは別で人工的にX線を作り出して患者様に照射し体の中を画像化する事で検査を行っていますが、その線量はかなり少なく胸部撮影1枚あたり0.03mSVの線量での撮影となっています。100枚撮影して3mSVとなり1年間の自然放射線被ばく量よりやや多くなるレベルの放射線です。

